

ゴーヘッドズ 速報

Goaheads

第6号 平成23年4月7日

達脇4回をノーヒット・ノーラン・・・

投手も野手も完全機能！！

	1	2	3	4	5	6	7	R
A	0	0	0	0	0	0	0	0
G	0	0	2	0	2	0	×	4



4/7(土) Victoriaｽﾌﾟﾘﾝｸﾞﾄｰﾅﾒﾝﾄを金井公園に川崎ﾐｰﾁを迎え1回戦を行った。相手チームは19、20歳と非常に若い年齢構成だけに、若さからくる何かが判らず、序盤は緊迫すると予想された。しかし、初回から我がチームは先制のチャンスを迎える事になったが、相手の好手により先制は逸した、が、3回にも得点チャンスが、この回先頭の達脇が、安打で出塁、続く智が、犠打を決め1死2塁、続く哲也は相手の失策で出塁、その後今日3個目の盗塁を決める、続く深沢は四球を選択し、1死満塁の先制チャンス、打席には4番木村、2球目を叩いたが三ゴロ、この間に3塁から達脇がホームイン、更には、2塁走者の哲也が躊躇なく、一挙2塁から生還し、この回2点を挙げた。この哲也の走塁はこの後のゲームを非常に優位に進めた。4回にも得点チャンスがあったが、後1本が出ず残塁、しかし、続く5回には哲也の安打で出塁、深沢の二遊間の内野ゴロの間に哲也が三塁へ進塁、そしてこのチャンスの場面にまたもや木村が打席に、今度は初球を叩き、中越2を放ち3点目を挙げた、更には相手投手の疲れが見えたところで、3連続四死球を選択し、押し出して4点目を挙げ、今日のゲームを決めた。残塁が目立った今日のゲームであったが、要所は、何とか野球になったのでは無いか？と感じる内容であった。そして、そして今日特筆すべき内容は、達脇のピッチングである。前節のリーグでボロボロの状態であっただけに、チームの信頼を得るためには、今日の内容が非常に大事である。その達脇の内容であるが、4回を投げ2塁踏まさない、出した走者は四球の一つだけ、この辺は次回にお預けだが、ノーヒットノーランはチームの信頼を得るには、充分の内容であった。4コマ目には、区民大会が控えているだけに、次の登板が真価を得る重要な内容になるだろう。また、後続の林に於いてはまさに熟練といった内容、真ん中に甘く入った球を左越に1本持って行かれたが、こちらも3塁踏まさずの内容と素晴らしい内容であった。後は、打線の繋がりが戻ってくれば、残塁数も減り、より勝利に近づくであろう。次のﾄｰﾅﾒﾝﾄの相手は、これこそ、まさに強豪と思われるチームとの戦いになる事が予想される。しかし、勝利への道は、今日のようなゲーム内容をする事であろう・・・